

# 乾燥

成形した作品は、通常、素焼きし<sup>0</sup>た後本焼きをしますが、素地の状態で直接、本焼きすることもあります。そのいずれの場合も、作品は完全に乾燥させることが大切です。もし乾燥が不十分だったりすると、せっかく作った作品が切れたり破裂したりして、見るも無惨なものになってしまいます。ですから、焼成前には100%水分を取り除いておく必要があります。これは失敗しない焼成の必須条件です。

作品の乾燥のしかたには、天日乾燥と室内の自然乾燥、または乾燥室での乾燥などがあります。乾燥は、器の大きさや厚み、形状などによって、その方法が異なりますが、天日乾燥の場合でも、数日は室内で自然乾燥させた後、屋外の陰に数時間置き、作品の端や角の部分が白みを帯びてきた頃合いを見計らって、天日に当てるようにします。肉眼では乾燥の度合いが分かりにくいので、これで充分と思っても、さらにもう一日、好天の日差しに当ててください。乾燥は、し過ぎることはありません。手の平を作品に当ててみて、温みを感じる程度が、程よい乾燥状態です。



屋外の乾燥



室内の乾燥

## 素焼きの温度曲線

